立山町

そびえる霊峰立山。内に極楽浄土と地獄を抱え、その豊かな恵みと信仰文化でこの町は創られました。
「立山曼陀羅」にも描かれ信仰の対象であった立山は、時と共に立山黒部アルペンルートに代表される類を見ない雄大な国際観光地として発展してきました。その一方でラムサール条約に登録される湿地帯や国内初の現存氷河など手つかずの自然も共存し、立山がもたらす水は肥沃な大地をつくり豊かな食を生みました。この全てが、立山町です。

企業版ふるさと納税プロジェクト

1．未来人材育成就学支援プロジェクト

- 「米百俵基金」を財源に経済的理由で高等学校への就学や県外の大学等への進学について、教育資金の融資等を受けた方に対し、就業後に返済する教育資金の一部を補助するものです。立山町の未来を担う優秀な人材を育成することを目的としています。

【拡充しました！】立山町教育ローン等返済応援補助金（旧立山町奨学金返済応援補助金）の認定者募集

2．「五百石駅周辺」便利な街へ再設計プロジェクト

- まちなかでの宿泊施設（ビジネスホテルやゲストハウス）誘致を目指します。それにより、町の企業を訪れるビジネスマンや観光客が町内で消費を行うこととなり、地域内消費の活性化を見込んでいます。また、宿泊施設の周りには、小売業、飲食業、サービス業等の事業者の進出が期待でき、五百石駅周辺が便利でにぎやかな街へと生まれ変わります。加えて、地元雇用の促進や町外からの従業員の移住増加にもつながることが期待されます。

3．「働きたい」と「住みたい」が調和する町へ ～関係人口の増加を求めて～

- 移住定住相談や情報発信に携わる先任者を任命し、SNS等を活用した積極的な情報発信により、町への注目を集めます。また、サテライトオフィスとして都市圏のIT・ベンチャー企業の誘致を進め、若者のは働く場所を創出します。加えて、これらの事業に取り組む中間支援組織を立ち上げ、町に移住したい人と地域・民間企業とを橋渡しします。

4．災害復旧（令和5年豪雨災害、令和6年能登半島地震災害）

- **【令和5年豪雨災害】**
  令和5年6月28日から7月12日に発生した豪雨により、白岩川の堤防決壊や耕作地への土砂流入など、甚大な被害が発生しました。この災害復旧に活用させていただきます。

- **【令和5年豪雨災害】**
  令和6年1月1日に発生した地震により、公共施設や道路などに損傷が発生しました。この災害復旧に活用させていただきます。

企業版ふるさと納税詳細はこちら ▶▶▶

次頁につづく

5．新児童館の遊具設置プロジェクト

- 令和6年秋、立山町に児童館、多目的ホールの機能を備えた複合施設が誕生します。立山町役場庁舎敷地内に整備し、防災・災害対応の拠点機能と併せ、子どもの居場所、多世代交流の中心となります。

6.立山黒部アルペンルートの応援と国立公園立山の環境整備

- 山岳観光地や国立公園に多くの観光客が訪れるよう、立山黒部アルペンルートの応援（魅力発信、環境整備、維持活性化、事業者支援）や、国立公園立山の環境整備（登山者の安全を守るための登山道・標識の整備）等に活用します。

・立山駅周辺駐車場の整備
・登山道の整備
・立山室堂周辺案内標識整備
・立山黒部アルペンルートの魅力発信

7.こどもが輝く美しいまちづくりプロジェクト

- 未来を担うこどもたちのために、環境に配慮したまちづくりを進めます。また、新児童館をはじめ、こどもたちを取り巻く環境を整え、こどもたちの居場所や遊び場の創出につなげます。